

邂逅の作用反作用

歴史・芸術・フィールドの視角から

第3回白眉シンポジウム



日時: 2016年1月25日(月) 13時～17時

場所: 京都大学 芝蘭会館 山内ホール (事前登録要: 定員70名)



○市バス31, 201, 206系統「京大正門前」下車 徒歩2分
○京阪電車「出町柳」駅下車 徒歩15分

世界は邂逅に満ちている。
人と人の出会い。新たな思想や制度との出会い。
これらは何をもたらし、どのように語られてきたのか。
具体的な事例をもとに、映画学、音楽学、文化人類学、
歴史学という異なるアプローチから、人を取り巻く
さまざまな邂逅の作用反作用を読み解く。

- 鈴木英明(長崎大学) 「フィールドと文献を往復する: インド洋海域史の歩き方」
王柳蘭 「仏教社会タイに生きるムスリムの葛藤とさまざまなイスラーム」
小石かつら 「改宗ユダヤ教徒としてのメンデルスゾーンとドイツ祝典音楽」
ジェニファー・コーツ 「李香蘭・山口淑子・シャーリー=ヤマグチ: 時空を超える邂逅」
和田郁子 「近世インド・港町の“オランダ人”社会に生きた女性たち」
(以上、京都大学白眉センター)



申込先: 下記webサイトの登録フォームよりお申し込み下さい
お問い合わせ: 京都大学白眉センター TEL. 075-753-5315
http://www.hakubi.kyoto-u.ac.jp/jpn/00_eve/encounters.shtml